

角膜穿孔に対して表層角膜移植術を行った症例の検討

1. 研究の対象

高知大学医学部附属病院眼科において2017年1月1日から2023年9月30日までに当院にて角膜穿孔に対して表層角膜移植術を施行された患者さんを対象にします。

2. 研究目的・方法

研究目的)

角膜穿孔とは、感染、非感染性、外傷などを契機に角膜に穿孔創が生じることにより房水が眼の外に漏れてしまう状態のことを言います。角膜穿孔に対する治療としてはコンタクトレンズ、羊膜補填術、表層角膜移植術などがあります。表層角膜移植術は角膜穿孔の中でも重症例に行うことが多く、今回高知大学医学部眼科学教室は附属病院眼科に通院され、角膜穿孔に対して表層角膜移植術を施行された患者さんの原疾患や経過などについて検討することになりました。

方法)

2017年1月1日から2023年9月30日までに角膜穿孔に対して表層角膜移植術を施行された患者さんを対象者として、年齢、性別、原疾患、経過などを診療記録より収集します。

研究期間) 倫理委員会承認日～2025年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報については診療記録より収集します。この研究のために新たに検査や試料採取を行うことはありません。

取得する情報) 年齢、性別、眼科検査結果、病歴等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院眼科 TEL 088-880-2638 FAX 088-880-2189

研究責任者：高知大学医学部附属病院眼科 角 環